

保護者・地域のみなさまへ

令和2年度学校通信 第13号

令和3年1月8日発行

飯塚市立伊岐須小学校

校長 北川清徳

いぎすだより

どんな一年にしたいですか？

保護者並びに地域の皆さま、あけましておめでとうございます、本年も伊岐須小学校をよろしくお願いいたします。今日の始業式のテレビ放送で、子どもたちに「目標」についてお話をしました。どんな状況であっても子どもたちと一緒に伸びていく伊岐須小学校でありたいと思っています。今年も皆様から力強い応援を頂ければ幸いです。

みなさん あけましておめでとうございます。

2学期の終業式は学校が突然の停電になってしまいテレビ放送も行うことができませんでした。終業式でお話したかったことをまとめた学校だよりを皆さんはおうちの人と一緒に読んでくれましたか？ 読みました！ という人は手をあげてください。

それでは、今から皆さんにいくつか質問をするので、あてはまる人は手をあげてください。「冬休みは、朝、昼、晩しっかりご飯を食べました」「冬休みに10回くらい外で遊びました」「冬休みは、だいたい夜10時までには布団に入っていました」「冬休みは、だいたい朝8時までには起きていました」「冬休みにおうちのお手伝いを10回くらいしました」「冬休みの宿題は全部終わっています」最後の質問です。

「お正月に今年の目標を立てました・考えました」という人。

昔から日本には「書初め」をして自分がどんな一年を過ごしたいか、その年の目標を決める習慣があります。それはとても素敵な習慣だと校長先生は思います。

校長先生の今年の目標の一つは「伊岐須小学校のみんなで ICT 教育の勉強をすること」です。ICT 教育とは、パソコンやインターネットなどの情報通信技術を活用した教育手法のことです。簡単にいうと電子黒板やパソコン、タブレットなどを取り入れた、楽しくてわかりやすい学びづくりのことです。

『今、たくさんの教室で電子黒板が使えるようになりました』『これからデジタル教科書も使えるようになってきます』『さらに、4月までには皆さん一人一人のもとにタブレット型端末が届く予定です』これらをどのように使うのか、そしてどんなふうに授業に取り入れていくかを皆さんと先生とで一緒に勉強できたら楽しいだろうなと思っています。

今年、ICT を取り入れた学びが皆さんの「大好き」や「夢中」の仲間入りをすることを校長先生は期待しています。

というわけで、皆さんにもぜひ「今年こんな一年にしたい！」という目標をもってほしいと思います。目標とは「少し頑張ったらできること」です。目標をもって一日を少し頑張ったら、明日が少し素敵になります。少し素敵な明日が集まったら、きっととても素敵な一年になることでしょう。この後教室でこのお話を思い出しながら、今年の目標や3学期のめあてを考えてくれたら校長先生はうれしいです。

それでは、3学期もコロナに負けない優しい心と強い体で大好きや夢中を探してください。これで校長先生の話が終わります。